

お知らせ

平成28年11月11日
東北電力株式会社

地中送電ケーブルの緊急点検結果の報告について

当社は、平成28年10月12日に東京電力パワーグリッド株式会社管内（埼玉県新座市）で発生した地中送電ケーブル（OFケーブル^{※1}）の発火事象を受け、経済産業省より発出された指示文書^{※2}に基づき、OFケーブル1線路の点検を行い、本日、経済産業省へ点検結果を報告いたしました。

当社では、指示文書に基づき、福島県内に設置している、お客さまへの電力供給用の27万5千ボルトのOFケーブル1線路について、目視によるケーブル点検に加え、油量・油圧点検を実施し、異常がないことを確認しております。

またあわせて、当該線路については、現在、絶縁油の劣化度合いを確認するため、本年12月までの完了を目途に、絶縁油に含まれるガスの分析を実施する予定としております。

<報告概要>

点検対象	目視点検	油量・油圧点検	油中分析
27万5千ボルト OFケーブル1線路	異常なし	異常なし	実施調整中

なお、当該線路に加え、当社送電設備で使用している全てのOFケーブル^{※3}についても自主的に点検を行い、異常がないことを確認しております。

当社といたしましては、今後とも、OFケーブルについて適切な点検・管理を行い、安全性を確保してまいります。

以上

- ※1 OFケーブルとは、電気の絶縁に油（絶縁油）を使用したケーブルのこと。
- ※2 指示文書では「高経年化による劣化が疑われる可燃性の地中送電ケーブルについて、その安全性が適切に確保されているか、緊急点検を行い、点検状況について、一月以内の可能な限り早期に、経済産業省に報告すること」とされている。
- ※3 当社送電設備で使用しているOFケーブルは、27万5千ボルトOFケーブル1線路を含め、計52線路。